

Oral presentation

## [B] Taxonomy, Morphology, Histology

Fri. Mar 29, 2024 9:00 AM - 11:30 AM Site B (Hagi)

10:00 AM - 10:15 AM

### [B-05]宮野（2022）で報告されたハビロキバガ亜科（チョウ目：エグリキバガ科）3種の分類学的研究

○Hazumu Arashima<sup>1</sup>, Sadahisa Yagi<sup>2</sup>, Toshiya Hirowatari<sup>2</sup>, Shunsuke Tomura<sup>3</sup>, Johei Oku (1. Kyushu University, 2. Kyushu University, 3. Tokushima Prefectural Museum)

エグリキバガ科ハビロキバガ亜科は幅広い翅をもつ蛾で、世界から200種程度、国内からは3属9種が記録されている。このうち*Scythropiodes*属について、宮野（2022）で3未同定種が報告されたが、これらの雄交尾器は本属の特徴である発達した gnathosを持たず、属の所属も含めて検討する必要があった。3種のうち*Scythropiodes* sp. 3は、韓国・台湾産個体に基づき*S. sungsookimi* Sohn & Wu, 2023として記載されたが、雄交尾器の transtillaの側方突起を gnathosと誤認しているなど形質の相同性の検討に問題があった。そこで分類学的研究を進めた結果、雌雄交尾器の特徴から3種は*Odites*属に含めるのが妥当で、残りの2種は未記載種であると判断した。また、多くの種が主に木本植物の葉の広食性である本亜科では珍しく、*O. sungsookimi*は樹皮を摂食することも明らかになった。